

河合塾全統記述模試返却！

5月14日に実施された河合塾第1回全統記述模試の結果が返却されました。記述模試ですから、国公立大の2次試験、私立大学の個別一般入試を想定した科目を受験したはずですが、出来はどうか？ これまで受験してきた進研模試に比べて、受験者の学力層が高めなので、偏差値は低く出ている人が多いはずですが、判定も（特に上位志望校については）厳しい結果となったのではないのでしょうか？ しかし、この段階では偏差値や判定よりも、返却された答案に注目しましょう。成績個表とともに渡された冊子『ANTENNA』には、成績統計資料だけでなく、採点結果を踏まえた総評・設問別講評・学習アドバイスが載っています。熟読すれば、今後の学習の指針となるはずですが、採点基準も明示されていますので、特に論述問題の解答部分は、念入りに復習するとよいでしょう。

◆ 表1：コース別&科目別 受験者数・平均偏差値

	国理	国文	私理	私文	英語	数Ⅱ型	数Ⅲ型	現古
受験者数	35(11)	9(5)	9(3)	28(1)	81(20)	19(7)	33(8)	8(0)
130 回生	49.5	52.0	45.3	51.0	51.9	49.1	48.8	54.7
129 回生	49.3	48.6	52.2	49.9	51.5	51.2	48.1	-

	現古漢	物理	化学	生物	世界史	日本史	政経
受験者数	52(14)	28(6)	41(13)	10(6)	11(0)	21(5)	7(1)
130 回生	50.1	44.1	47.7	50.0	52.9	47.9	55.9
129 回生	48.8	46.7	47.2	50.7	-	49.9	35.0

* 「受験者」欄の()内は129回生の人数。なお、受験者数5名未満の科目のデータは割愛。

◆ 表2：英語・国語・数学 大問(設問)別成績

☆英語 (200点)

設問No.	1(選)	2(選)	3	4	5	6
内容	リスニング	中文空所	文法語法	総合問題	総合問題	英作文
配点	15	15	20	60	60	45
校内平均	10.0	7.0	7.8	24.6	18.8	22.7
全国平均	9.5	7.2	8.3	24.4	16.5	18.5

(差) 0.5 ▲ 0.2 ▲ 0.5 0.2 2.3 4.2

☆国語 (現古漢・200点)

設問No.	1	2	3	4
内容	現代文	現代文	古文	漢文
配点	60	40	50	50
校内平均	24.6	16.8	16.8	23.3
全国平均	24.8	17.3	17.0	22.0

(差) ▲ 0.2 ▲ 0.5 ▲ 0.2 1.3

☆数学 (Ⅱ型・200点)

設問No.	1	2	3	4(選)	5(選)
内容	小問集合	三角関数	場合の数	微分法	平面ベクトル
配点	50	50	50	50	50
校内平均	34.9	7.6	23.5	21.4	4.0
全国平均	34.5	13.4	19.2	23.9	11.7

(差) 0.4 ▲ 5.8 4.3 ▲ 2.5 ▲ 7.7

☆数学 (Ⅲ型・200点)

設問No.	1	2	3	4	5(選)	6(選)
内容	小問集合	三角関数	確率	平面ベクトル	数列の極限	複素数平面
配点	40	40	40	40	40	40
校内平均	32.8	11.5	17.5	8.6	15.1	6.0
全国平均	31.6	14.9	14.8	12.8	17.4	13.7

(差) 1.2 ▲ 3.4 2.7 ▲ 4.2 ▲ 2.3 ▲ 7.7

成績個表の裏面には、大問ごとの全国平均と個人の得点が載っています。自分の弱点分野を直視して、夏の学習課題を明確にしましょう。夏休みの終わり8月27日(日)には、学年全員受験の河合塾第2回全統記述模試があります。今日からの約2か月（その間には約40日に及ぶ「夏休み」があります）が勝負どころ、まずは夏休みに入るまでの7月20日(木)までの過ごし方が最初の山場です。

「不動岡生が勉強しないなんてもったいない！」

先週行われた進路講演会終了後、大島保彦先生（駿台予備学校）が帰り際に強調されていたことばです。あの講演を聞き、この言葉を見たあなたは、いま何を感じていますか？ いま何をすべきですか？ ここでは、仲間の感想文の一部をいくつか紹介します。

- ✚ この時間で、一番頭に焼きついたのは、「好きなことを集中して学べば、それは将来何かに必ず結びつく」ということです。今まで集中して何かに取り組んだことがあまりなく、勉強も浅く広くやってきて何か物足りないと感じていました。また、自分の能力は天命だという部分にも感銘を受けました。勉強は自分のためだけだとつまらなくなりますが、誰かのためになるのだと思うと自然とやる気がおきました。（男子）
- ✚ 自分のやってきたことは、いつかきっと人生のどこかで役に立つというところが、英語の授業でやった connecting the dots の話に似ていると思った。…また、「自分の能力を私物化してはいけない。いつか出会う誰かのために、いまを努力してほしい」という言葉に感動した。不動岡の前身となる学校を作った人々の思い、いろいろな経験をさせてもらっていることの有り難さや意味を考えさせられた。何かのために、誰かのために生きなければならないのだと思えた。自分はどう生きるべきなのか、もう一度考えるきっかけとなる講演だった。（女子）
- ✚ …たくさんの教え子の方の話では、みんな行動力がすごいなあと思いながら、「知識があるからこそ行動力も自然と出てくるのかなあ」とも思いました。（女子）
- ✚ 「勉強して天命を知る。いつの日か助けを求められた時、胸を張れる自分でいられるように、今やるべきこと、勉強をしっかりとやる」。大島先生は今日の話が進路につながるのか心配されていましたが、私の中ではちゃんと進路につなげてくださったと感じています。面白いと思ったことをひたすら勉強してみようと強く思いました。自分の進む道がちょっと明るくなったような気がしました。（女子）
- ✚ 大島先生が話されたことは、目先の受験だけにとらわれた「勉強」ではなく、今後の人生のための「勉強」についてであった。…不思議なものだ。受験に関するお話はほとんどなかったというのに、勉強への意識が高まったのは何故だろうか。今後の人生のため？ 将来関わる他人のため？ いや、きっとそんな大それたことではない。ただ単純に教えられた気がしたのだ。楽しむことが重要であると。そのために勉強が重要である、と。おそらくどれだけプレッシャーをかけられても、このやる気は起きなかっただろう。先生のお話だったからこそ、なのだ。（男子）